

新規事業採択時評価結果（平成15年度新規事業化箇所）

事業名 網野子バイパス（一般国道58号）	事業区分 一般国道	事業主体 鹿児島県	
起終点 自：鹿児島県大島郡住用村役勝 至：鹿児島県大島郡瀬戸内町勝浦		延長 6.6 km	
事業概要 一般国道58号は、鹿児島市を起点とし、海上を経て、沖縄県那覇市に至る路線であり、奄美大島を縦断する幹線道路である。 網野子バイパスは、幅員狭小、線形不良の隘路区間を解消し、安全で円滑な交通確保を目的とした延長6.6 kmの2車線道路である。			
事業の目的、必要性 網野子バイパスは、幅員が狭く、連続した急カーブ、急勾配により急峻な山間部を通過している区間であるため、これらを解消し通行車両の安全性、利便性を高め、地域の活性化に大きく寄与するものである。			
全体事業費 170億円		計画交通量 3,100台/日	
費用便益比 B/C	1.7	総費用 149億円 （事業費：144億円 維持管理費：5億円）	総便益 259億円 （走行時間短縮便益：246億円 走行費用減少便益：11億円 交通事故減少便益：2億円）
		基準年 平成15年	
事業の効果等			
<ul style="list-style-type: none"> ・物流効率化の支援（名瀬港へのアクセスが改善される） ・地域づくりの支援（大型車のすれ違い困難箇所の解消）、隣接市町村間のアクセス向上） ・道路の防災対策・危機管理の充実（緊急輸送道路ネットワーク計画、防災点検箇所位置づけられている。など、5項目に該当 			
関係する地方公共団体等の意見 本区間は、幅員が狭く、連続した急カーブ、急勾配により急峻な山間部を通過している区間であるため、法面の崩壊も多く、そのたびに交通規制が行われることから、大島本島南部四か町村議会議員大会（平成14年4月25日）において早期事業化に向けて活動を行うことが議決され、国道58号バイパス整備促進期成同盟会（平成14年4月11日）による整備促進の要望を受けている。			
事業概要図			